

## 社会福祉法人知足常楽会 役員等報酬規程

### (目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人知足常楽会定款第8条及び第21条の規定により、役員及び評議員等の報酬等について定めるものである。

### (定義)

第2条 本規程でいう役員とは、理事及び監事をいう。

- 2 報酬は、法人と委任関係にある役員及び評議員の職務執行の対価として支払われるものである。
- 3 報酬額は、評議員に対しては各年度の総額が定款で定める額を超えない範囲とし、役員に対しても評議員と同様とする。

### (理事会及び評議員会の出席報酬等)

- 第3条 理事及び監事が理事会に出席したときは、別表1により報酬及び実費弁償費を支払うことができる。なお、同日に合わせて法人の業務を行った場合であっても、第4条の報酬及び実費弁償費はこれを支払わないものとする。
- 2 評議員が評議員会に出席したときは、別表2により報酬及び実費弁償費を支払うことができる。なお、同日に合わせて法人の業務を行った場合であっても、第4条の報酬及び実費弁償費はこれを支払わないものとする。
  - 3 交通費の実費が、実費弁償費の額を超える場合には、その実費とする。

### (役員及び評議員の勤務報酬等)

- 第4条 理事長が理事会以外の日において、法人及び施設の運営のための業務にあたった場合は、別表3により報酬及び実費弁償費を支払うことができる。
- 2 理事が理事会以外の日において、理事長の命を受けて法人及び施設の運営のための業務にあたった場合には、別表3により報酬及び実費弁償費を支払うことができる。
  - 3 監事が理事会及び評議員会以外の日において、法人及び施設の指導検査への立会及び運営状況の指導または監査の業務にあたった場合は、別表3により報酬及び実費弁償費を支払うことができる。
  - 4 評議員が評議員会以外の日において、理事長の命を受けて法人及び施設の運営のための業務にあたった場合には、別表3により報酬及び実費弁償費を支払うことができる。
  - 5 交通費の実費が、実費弁償費の額を超える場合には、その実費とする。

(出張旅費)

第5条 役員及び評議員が、法人業務のため出張する場合は、別表4により報酬及び旅費等を支給することができる。

2 旅費は、実費を支給する。

3 業務遂行に必要な経費は、実費を原則として支給できる。

4 旅費等は原則として、出張終了後支払うこととするが、必要により事前に概算額を支払い、出張終了後精算することができる。

(兼務役員)

第6条 施設の職員を兼務する役員は、施設の職員としての業務を除く法人業務に限り、この規程を適用することができる。

附 則

1 この規程は、平成29年5月18日から適用する。

2 この規程は、令和元年6月14日に改正し、当日から適用する。

別表 1

名 称	報 酬 (日額)	費用弁償 (日額)
理事会出席報酬等	(当面は支給しない)	5,000円

別表 2

名 称	報 酬 (日額)	費用弁償 (日額)
評議員会出席報酬等	(当面は支給しない)	5,000円

別表 3

名 称	報 酬 (日額)	費用弁償 (日額)
理事長業務報酬等	(当面は支給しない)	別表 1 に同じ
理事業務報酬等	( 同 上 )	同 上
監事業務報酬等	( 同 上 )	同 上
評議員業務報酬等	( 同 上 )	別表 2 に同じ

別表 4

報 酬 (日額)	旅 費	宿 泊 費	そ の 他
(当面は支給しない)	実 費	実 費	実 費